

当社ステewardシップ活動に関する自己評価（2020年）

原則	活動実績	自己評価
原則1 （方針の策定・更新）	<ul style="list-style-type: none"> 当社を含む AXA IM 全社において、利益相反管理は厳格に管理されており、社内規程等の見直しも定期的を実施。 	原則1に関する活動状況については適切であると評価。
原則2 （利益相反管理体制）	<ul style="list-style-type: none"> 当社を含む AXA IM 全社において、利益相反管理は厳格に管理されており、社内規程等の見直しも定期的を実施。 利益相反管理方針の概要を当社ウェブサイト上で継続公表。 年次の全社員向けコンプライアンスセミナーにおいて、利益相反に関する注意喚起を実施。 役職員の活動状況を把握し、潜在的な利益相反の可能性を把握し、事前に防止。 	原則2に関する活動状況については適切であると評価。
原則3 （企業の状況把握）	<ul style="list-style-type: none"> 実際のエンゲージメント活動事例やエンゲージメントの統括責任者のコメントなど、AXA IM のエンゲージメント活動レポートを、当社ウェブサイト上に掲載。 活動において見出された課題などについても、レポート内で言及。 	原則3および4に関する活動状況については適切であると評価。
原則4 （エンゲージメント）		
原則5 （議決権行使）	<ul style="list-style-type: none"> 議決権行使ガイドラインに基づき議決権の行使を実施。 議決権行使に係る基本方針および具体的指針を当社ウェブサイト上で継続公表。 	原則5に関する活動状況については適切であると評価。
原則6 （顧客報告）	<ul style="list-style-type: none"> AXA IM グループとして、ステewardシップ活動に関するレポート各種を発行し、当社ウェブサイト上に公表。 	原則6に関する活動状況については適切であると評価。
原則7 （当社における役職員の 実力の向上）	<ul style="list-style-type: none"> 当社役職員は、業界トレンドやマネジメントの意見交換の場に積極的に参加。 環境省主催のタスクフォースに当社役職員が委員として参加し、当社事例のプレゼンを実施。 	原則7に関する活動状況については適切であると評価。